

月刊「測量」別冊

### いまさら聞けない地形判読

「いまさら聞けない地形判読」

編集小委員会【著】

日本測量協会 1,650円（税込）



近年の地形計測技術の進化は目覚ましく、レーザー測量やUAVによって高精度なデータが取得され、同時にビジュアル化のための表現技術も多数考案されている。一方で災害大国の我が国では、正しく地形を理解し、リスクを避けることが欠かせないが、必ずしも都市開発などで活かされているとは言えない。本書は、適確に地形情報を見出すため、現役の応用地形判読士らによって作られた最新の解説書である。

土石流、地すべり、斜面崩壊、断層

など、頻発する災害事象の1つずつに焦点を当て、空中写真や土地利用図、地形図、地形分類図、3D表現など組み合わせながら、地形種を見抜くためのテクニックや勘所が提示される。全体に共通するのは地形を見つめ続ける姿勢だ。何度も繰り返し図版や資料、そして現地を眺め、ピンとくる感性を養うべし、というのが執筆陣の思いだろう。地形判読に王道なし、されどその先に地形を読み解く楽しさもあることを教えてくれる一冊。